



sakushin ism



Sakushin Gakuin Elementary School

作新学院小学部

学院長 船田 元

〒320-8525

栃木県宇都宮市一の沢1丁目1-41

☎028(647)4576

FAX028(648)1823

<https://www.sakushin.ac.jp/elementaryschool/>



交通案内

◆JR宇都宮駅利用 西口バスターミナル⑥・⑦乗場から
関東バス「作新学院駒生」行乗車

◆東武宇都宮駅利用 東武宇都宮駅前バス乗場から
関東バス「作新学院駒生」行乗車

※いずれも「作新学院前」下車



SAKUSHIN GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL



作新学院小学部

学校案内／募集要項 2025



「作新民。」—その「人間力」で、世界を変える、未来をつくる。



「確かな知力」「豊かな心」「やりぬく強さ」

〈リトルジェントルマン〉 〈リトルレディ〉
小さな紳士・小さな淑女を育てる



学院長
船田 元



理事長
船田 恵

作新学院小学部は県内でただ一つの私立小学校です。小学部では私立の特色を生かし、児童一人ひとりが個性を十分に伸ばせるよう、教職員は細かい点にまで気を配りながら指導しています。特に学院の校風である人を思いやる優しさや、心の豊かさをもった人となるように、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を心がけ、それを実践しています。

知育 ———— 少数教育によるきめ細かい指導。

教育の基本は「教え込む」ことではなく、その子どもに備わっている能力と可能性を最大限に「引き出す」ように導くことです。そして、子どもが自発的に学べる環境を整えることです。作新学院小学部では、各教科の授業において、子どもたちの学習に対する興味や関心を高める様々な取り組みを通して、学習への意欲を引き出し、学力を確実に伸ばすことに力を注いでいます。また、少人数クラス編成でのきめ細やかな指導とチーム・ティーチングにより、授業に自然と集中できる環境を作り出しています。

徳育 ———— 感謝と思いやりの心を育む。

作新学院小学部の道徳教育は、キリスト教の愛の精神を基盤とし、成長に合わせてゆっくりと子どもを見守りながら「思いやり」の心を育み、愛情豊かに育てようとする教育です。学校での生活は、朝の祈りに始まり、帰りの祈りに終わります。また、月に二回の牧師による聖話では聖書から隣人愛について学び、他人を理解し、よい人間関係をつくることのできる子どもの育成に力を入れています。また、学校は子どもの社会性を養うところでもあります。規律や礼儀、言葉づかいなど日常のしつけ教育も徹底して行っています。

体育 ———— 体力と意志力の育成。

通常の授業の他に私立学校の特色を活かした多彩なスポーツ系年間行事を用意。体力だけでなく持久力や忍耐力などをそなえた強くたくましい子どもを育てます。また、男子は5・6年生になると必修クラブとしてラグビーの授業があります。仲間とともに取り組むことで楽しんで体を動かし、粘り強くやり通す精神や思いやりの気持ちを養うとともに、ルールを重視し楽しく仲良く運動ができるようにしています。

創立者 船田兵吾 (1868~1924)

幼い時から学問が好きで、6歳の頃にはすでに『論語』を読みこなしたことから、「神童」と呼ばれる。また、田中正造とも親しく、彼から「日本における教育者の代表」と言わせるほどの人物であったという。作新学院の教育施設の整備に努め、学校発展の基礎をつくるために奔走し、1924年(大正13年)57歳で「教育」に捧げた一生を終える。



小学部 初代部長 船田小常 (1903~1973)

小学部創設に尽力。キリスト教の愛の精神を道徳教育の基盤に据え、自ら、聖書の教えを子どもたちに説いた。また、将来の国際化社会に備え、創立当初より英語教育に力を入れた。更に、一流人の育成を目指し、日常の立ち居振る舞いや挨拶等の躰にも厳しかった。こうした初代部長・船田小常の教育理念は、「小さな紳士・小さな淑女の育成」という小学部の教育目標として、今日まで受け継がれている。



沿革			
昭和29年	作新学院小学部創設 外国人教師による英語学習を開始	昭和38年	委託給食開始
昭和34年	制服制定	昭和41年	新校舎落成
昭和35年	必修クラブラグビー部設置	昭和57年	小・中等部体育館落成
昭和37年	必修クラブ茶道部設置	平成 3年	多目的校舎新設
		平成 8年	TBSこども音楽コンクール最優秀賞(金管クラブ)
		平成14年	1学級25名基準、学年3学級編成を実施
		平成17年	小学部校舎の拡充
		平成21年	小・中等部食堂棟落成
		平成23年	新入生より新制服となる
		平成26年	小学部創立60周年

創立当初からグローバル化を見据えた英語教育。

コミュニケーションを重視した内容で、生きた英語を楽しく学びます。

ネイティブの英語教師による楽しい授業

国際的な感覚と感性を身につけます。

作新学院小学部の英語教育は、創立当初より来たるグローバル化を見据え、ネイティブの英語教師をいち早く導入。子どもたちが楽しく自然と英語力が身につけられる授業を展開してきました。英語力を身につけることは、意欲と環境が整いさえすれば何歳からでも可能です。しかし、発音や習得の効率性を考えた場合幼少期から学習を開始することが望ましいと考えられます。

現在も、小学部ではネイティブの英語教師を擁し、生きた英語を習得できる学習環境を用意しています。私立学校ならではの質の高い教育が期待できます。

また、2020年度から英語が5・6年生で教科になり、今後、より確かな英語の力が求められることを考え、Reading・Writingの力も、学年に応じて身につけることができるようなプログラムを導入しています。



授業の様子は動画でもご覧いただけます



1年生から6年生まで、毎週2~4回、英語に親んでいます。



歌やゲームを通して、ListeningとSpeakingを中心に「英語は楽しい」という子どもの心を大切にしています。



「英語が好き」と思えるように、自然な形で英語が身につくことを目指します。



ネイティブの先生とのコミュニケーションを通して生きた英語の活用に重点を置いています。

五感を通して、英語と英国の文化に触れます。

LET'S GO!

異文化体験教室



5年生は夏休みの7月下旬に、ブリティッシュヒルズで1泊2日の体験学習を行います。ここでのさまざまなカルチャーレッスンやマナー教室はすべて英語。生きた英語に触れながらの活動は、子どもたちにとって貴重な経験となることでしょう。



英語でチェックイン。ドキドキしたけど、通じてうれしい!!



英語で教わりながらレンガのかけらでコースター作り。



布絵の具をつかってオリジナルバッグ制作。



マナーを学びながら美味しく楽しくお食事。



イングランド起源の「クリケット」を体験。

授業

一人ひとりを大切に。

少人数クラス編成とチーム・ティーチングで
行き届いた指導を実現します。



小学部長
八島 禎宏

学ぶ姿勢を低学年からきめ細やかに指導。

作新学院小学部では、学校生活の中心となる学習に対する基本的な態度や学ぶ力を、低学年の段階からきめ細やかに指導。一人ひとりがよく学び、自主・自立・友愛の精神を尊重しながら、楽しい学校生活を送れるような環境づくりに努めています。



学ぶ喜び・楽しさを子どもたちに伝えたい



自ら学び、考え、解決していく力を育みます。

作新学院小学部では私立学校ならではの独自の教育プログラムで特色ある授業を展開し、子どもたちが自然と授業に集中できるようリズムを作り出しています。また、少人数クラス編成とチーム・ティーチングにより、個に応じたきめ細やかな指導を実現し、子どもたちの学力向上に高い成果をもたらしています。さらに、ほとんどの児童が本学院中等部へ進学するという環境から、クラス全体に連帯感と緊張感が生まれ、子どもたちの自主性と学習意欲の高揚に相乗効果が得られています。



震災学習・被災地支援

東日本大震災から13年 続けてきた被災地の小学校との交流



小学部では東日本大震災以来、気仙沼小学校に毎年手作りのカレンダーを贈りつづけるなど被災地支援に取り組んできました。2021年には修学旅行で現地を訪れて、直接交流することができました。



自分たちが贈ったカレンダーが大切に飾られているのを見て、あらためて交流の大切さを実感しました。



今年の1月、八島部長が同校を訪問し、児童が心をこめて作ったカレンダーと制服リュースバザーの収益金を義援金としてお届けしました。



今年の2月には、気仙沼小の6年生とオンラインでの交流も実現できました。お互いに自分たちの学校と町の紹介をまとめ、発表しました。

必修クラブ



ラグビー

5・6年生の男子にはラグビーの授業があります。作新学院高等学校の体育教諭(ラグビー部)による技術指導を受けています。



ラグビー(男子)



茶道(女子)



茶道

5・6年生の女子は茶道家元のご指導で茶道を学んでいます。茶道を通して、日本の伝統文化に触れ、正しい礼儀作法を身につけます。

学校生活

規則正しい生活のリズムを培います



毎週水曜日に朝の運動があります。



登校

徒歩・バス・自家用車などで8時15分までに登校します。登校時は正門・アカデミアゲートのどちらからも入れます。



6年生は週番の仕事として、朝早く掃除活動を行っています。

朝のお祈りに始まる、楽しく充実した毎日。

キリスト教の愛の精神を基盤とした情操教育を行っています。



朝のお祈りの様子は動画でもご覧いただけます



下校

下校時も、児童の安全確保につとめています。



6時限目

理科の観察や実験は新しい発見がいっぱい。児童の目が輝きます。



1時限目

児童の生き生きとした表情が密度の濃い授業を物語っています。



2時限目

SDGsについて調べてロイロノートを活用したプレゼンテーション授業。



3時限目

音楽では、合唱や器楽合奏などを通して、豊かな情操を育みます。



4時限目

先生のお話をよく聞いて、わからないことは質問し、疑問は今日のうちに解決します。



給食

ランチタイムはみんなで楽しく、残さずきれいにいただきます。



5時限目

英語での発表を通してコミュニケーションスキルを高めます。

一校一家の精神

小学部では上級生が下級生をサポートすることが日常となっています。下級生を思いやる心を育てるとともに、上級生への感謝の気持ちと目上の人を敬う一校一家の精神が、脈々と受け継がれています。



上級生が正門で1年生を出迎え教室まで付き添います。



わからないことが多い1年生に6年生が優しくサポートします。



朝の時間に6年生が1年生に紙芝居を読んであげたりしています。

ICTの活用

児童はiPadを使用してICT機器ならではの使用方法で、思考の共有やプレゼンテーションなどに積極的に取り組み、学習のスキルを養ったり深めたりしています。



アカデミア・ラボにて社会科部会の研修会が催されました。



児童たちはiPadを活用して自主的に疑問点を調べ発表。

年間行事

私立ならではの多彩なイベント

学校行事を通して、社会性と協調性を養います。

子どもたちがめりはりのある学校生活を送ることができるように、1年を通して多彩な学校行事を用意してあります。一つの行事に子どもたちが主体的に関わっていく過程では、教科の学習とは違う活動の中から互いの能力を認め合い、よりよいものを創り出す喜びを感じることができます。また、学校行事と総合の時間を関連づけたプログラムを実践し、その内容をより充実したものにしています。

- 4 入学式
- 5 春の遠足
幼小連携田植え
親子給食会
- 6 親子のつどい
花の日訪問
- 7 異文化体験教室
- 8 チャレンジ講座
- 9 運動会
- 10 秋の遠足
林間学校
- 11 感謝祭
- 12 クリスマス礼拝・音楽会
- 1 スキー教室
- 2 スケート教室
- 3 卒業式

入学式



作新学院小学部での素晴らしい日々の始まりです。少し緊張しながらも希望に瞳を輝かせています。

春の遠足



新緑の豊かな自然の中で動植物と親しみながらクラスの仲間との友情を深めます。

幼小連携田植え



年長園児とお米の苗を一本一本丁寧に植えます。10月初旬に刈り取りをし、ご飯の炊き方を学んで美味しくいただきます。

花の日訪問



日頃お世話になっている公共機関や施設に感謝の気持ちとともにお花を届けます。

チャレンジ講座



夏休み、各教員の得意分野を生かして約20の講座が開かれます。この講座ではスマートフェンシングをしています。



割れんばかりの歓声の中で溢れる笑顔とほとばしる汗。仲間と一丸になって勝利を目指します。

林間学校

3年生は塩原で、4年生が那須で1泊2日の林間学校を実施。寝食を共にして友情深めます。



感謝祭



アメリカの宗教行事の一つですが、小学部では毎年野菜や果物を持ち寄り老人ホームなどへ届けています。



長距離走大会



10月から11月にかけて子どもたちは毎日練習します。大会では完走する達成感と喜びを味わいます。大会後は役員の皆様が作ってくださる、おしるごとお雑煮を美味しくいただきます。

秋の遠足



秋の遠足は、さつまいも掘りやりんご狩りなど、実りの秋ならではの体験も。



美味しいお弁当いただきます!!

幼小連携稲刈り



立派に育ったお米を年長園児と一緒に稲刈りします。

クリスマス礼拝・音楽会



クリスマス礼拝のあとに音楽会を実施します。各学年ごとに発表する歌や合奏は、非常にレベルの高いものです。



音楽会の様子は動画でもご覧いただけます



修学旅行



2泊3日で横浜・鎌倉・箱根をまわります。班別行動を中心に、自然や歴史・文化を満喫します。

運動会



金管クラブの演奏に合わせて入場行進。

スケート教室



3・4年生を対象に実施。1時間ほどの練習で3年生も上手に滑れるようになります。

スキー教室



5・6年生を対象に実施。現地インストラクターの指導で、初めての児童も2日目には滑れるように。

栃木で地域医療に貢献したい

精神科医として活躍中の佐々木さんに、元学年主任の八島部長がお話を伺いました。



職場での佐々木さん



アカデミア・ステージにて八島部長と佐々木さん親子

佐々木 はづきさん 精神科医 (獨協医科大学病院・鹿沼病院)

獨協医科大学 医学部医学科 ◀ 宇都宮女子高等学校 ◀ 中部部 ◀ 小学部(2003年卒)

(八島) 今、具体的にどんなお仕事を?
佐々木さん 病院で精神科医をしています。獨協医科大学病院と鹿沼病院です。

(八島) 現在は育休中かな?
佐々木さん はい。10月末くらいから休んでいます。

(八島) 今のお仕事に達成感を感じる時は?
佐々木さん 治療をして患者さんが良くなっていってお礼を言われるときには、この仕事をやって良かったなあと思います。入院する患者さんの中には重症の人もいて、食事がとれなかったり動けなかったりする人もいますが、治療をして劇的に改善して日常生活を送れるようになって、「ありがとうございます。」と自ら仰る、そういう時は充実感があります。



(八島) お仕事をしていく上で大切にしていることは何ですか?
佐々木さん 患者さんと同じ目線で良くしていくという姿勢を大切にしています。



ダイニング・ラボにて

(八島) 今のお仕事につながるきっかけは?
佐々木さん 幼いころから人と接することが好きで日常生活でいろいろな人と接する中で、他の動物にはない人間だけにある豊かな感情のしくみや精神と身体につながりに興味を持つようになりました。日常生活の中で人と接するという点で言えば、学校での生活は大きなウエイトを占めていたので、小学部の経験がきっかけになっていたのかなとも思います。

(八島) 小学部にいたころの思い出は何ですか?
佐々木さん 小学部の思い出はいろいろありますがハリーポッターが大好きなので、一番印象的だったのはブリテッシュヒルズでの滞在です。今でもその時教えてもらったレシピでスコーンを作っています。

(八島) 将来の夢を教えてください。
佐々木さん 今は育児休暇中ということで、仕事的にはブランクになるのですが、子育てという体験をきっかけにして、児童精神を学ぶきっかけになればいいなと思っています。そして、生まれ育った栃木県で地域医療に貢献していきたいとも考えています。

(八島) 最後に小学部の後輩へのメッセージをお願いします。
佐々木さん 小学部の6年間というのは、自分の意思を持って初めて社会と接するために大切な時なのかなと思います。失敗を恐れずにいろいろな体験をして楽しい思い出をたくさん作って欲しいと思います。



卒業アルバムより

社労士として企業と社員の架け橋に

東京の社会保険労務士事務所で活躍中の天沼さんに、元担任の八島部長がお話を伺いました。



天沼さんの勤務先である早坂事務所にて



アカデミア・ラボにて天沼さんと八島部長

天沼 聡史さん 社会保険労務士・年金アドバイザー (早坂事務所)

早稲田大学大学院(商学研究科修士課程) ◀ 早稲田大学(商学部) ◀ 宇都宮高等学校 ◀ 中部部 ◀ 小学部(2003年卒)

(八島) 今、具体的にどんなお仕事を?
天沼さん 社会保険労務士(社労士)をしています。主な業務は、顧問先企業の労働・社会保険手続きをはじめ、労務相談・給与計算・年金相談などです。社労士は企業と社員の架け橋になることが重要だと感じています。

(八島) 社労士、合格率5%とか7%とか取ることが難しい国家資格ですよね。
天沼さん 大学の講義が終わった夜間に予備校へ通い、ダブルスクールで勉強しました。大学の講義やゼミの準備に加えて、空いた時間に社労士試験の勉強をしなくてはならず、そこは正直大変でした。



(八島) 小学生の時も目標を掲げて前に進んでいたのを覚えています。ところで、今のお仕事に達成感を感じる時は?
天沼さん 労務相談に乗る機会が多いのですが、日常的な相談やトラブルを解決できた時などお客様から「ありがとう。」と言っていただいたときですね。

(八島) 今のお仕事につながるきっかけは?
天沼さん 歯科医師の父とも家業を継ぐことも含めて将来について話をすることも多くありました。その中で、高校時代に課題で出た職業調査で初めて社労士の仕事を知りました。社労士を詳しく調べる中で、業務内容に魅力を感じ、そこからは社労士になるための進路を選択しました。

(八島) 将来の夢を教えてください。
天沼さん 全ての方が気持ちよく働ける職場環境を目指したいと考えています。そして近い将来、栃木に戻ってきて社労士として働きたいと思っています。

(八島) それは心強い。ぜひ帰って来てください。さて、小学部にいたころの思い出は何ですか?
天沼さん 一番の思い出はブリテッシュヒルズへ行ったことです。当時私は海外に行ったことがなく、こういう世界があるのだなあ、と感動したのを今でも鮮明に覚えています。それ以外にも普段の授業や林間学校・修学旅行など楽しい思い出が沢山あります。

(八島) 実はね、初めてブリテッシュヒルズを訪れた小学校は、作新の小学部なんですよ。最後に、小学部の後輩へのメッセージをお願いします。

天沼さん 小学校の6年間は心身ともに大きく成長・変化する時期です。その期間を小学部という素晴らしく恵まれた環境で過ごせたことは、今でも自分の大きな財産です。後輩の皆さんもやってみようと思うことを何か一つでも見つけて、全力で頑張りたいと思っています。



北野天満宮の寒紅梅の前にて



卒業アルバムより

My Story

卒業生が語る「私の小学部時代と後輩たちへ」

2025年度 募集要項

※新型コロナウイルスの感染状況により変更が生じる場合には、小学部HPでお知らせいたします。

入学試験	第 1 回	第 2 回
募集人員	男女あわせて約 75 名(1 クラス 25 名程度の 3 クラス編成) ※第 1 回入試が予定通り実施できた場合、第 2 回入試での募集人数は若干名です。	
出願手続	本学院所定の入学願書にて本学院事務局へ提出(駐車場は、正門前講師用駐車場) (願書配布は、7 月末頃から事務局または小学部職員室にて)	
出願期間	2024年 10月28日(月)～31日(木) 受付時間 10:30～16:00	2025年 1月14日(火)～16日(木) 受付時間 10:00～16:00
選考日時	2024年 11月23日(土・祝) 申込順に下記の時間を指定します 9:00/10:30/13:30/14:30	2025年 1月18日(土) 申込順に下記の時間を指定します 9:00/10:30
入学選考	心身両面の発達を調査し、本校教育に適する者を選びます。 合わせて保護者の面接も行います。	
選考料	1万円	
合格通知	2024年 11月24日(日) ※郵送による通知	2025年 1月18日(土) ※郵送による通知
入学手続	合格者は 2024年11月29日(金) までに 入学金8万円を所定の銀行へ振り込んで ください。(入学金は返金いたしません)	合格者は 2025年1月23日(木) までに 入学金8万円を所定の銀行へ振り込んで ください。(入学金は返金いたしません)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・一日入学は2025年2月1日(土)。 ・教育委員会への手続きは、本学院で行います。 ・就学時健康診断は、指定された小学校で受けてください。 ・学区制限はありません。 ・卒業後の進路選択は自由です。 ・本学院中等部への進学は、入学試験を受け、その結果により認められます。 	

入学諸経費

○諸納付金…171,980円 ※2024年7月 現在

- 施設費 100,000円(入学時・2年より年間 20,000円)
- 学級経費 13,000円(半年分)
- 給食費 7,900円
- 4月分授業料・教育充実費・実習費 35,600円
- 保護者会経費 12,000円
- その他の経費 3,480円

○購買用品…男子/約 85,755円・女子/約 88,910円

- 制服一式 ◆男子 約 31,185円 ◆女子 約 34,340円
- 体育着一式 男女共通 約 8,600円
- 学用品・スモック・ランドセル(学院指定のもの) 男女共通 約 45,970円

○毎月の経費…46,500円

- 授業料・教育充実費・実習費 35,600円
- 給食費 7,900円
- 行事積立金 3,500円
- ※4・5月は、学級経費 13,000円が含まれます。

※児童募集に関する個人情報の取り扱いについて/願書などに記載いただいた個人情報は、入学選考実施のための事務手続き、及び合否等の連絡、合格後における入学手続等の事務手続及びその連絡のために使用いたします。

募集要項

小さな紳士・淑女を育てる

作新学院小学部

学校説明会・公開授業参観

2024年
10月18日(金)

聴蛙館



小学部に入学を希望する園児の
保護者の方々のご来校をお待ちしています。
駐車場は西駐車場です。

学校説明会
場 所/聴蛙館 3階
受 付/ 9:30～10:00
開催時間/10:00～10:40

公開授業参観
場 所/小学部各教室
授業時間/10:50～11:35

学童保育パレットのご案内



小学部では、第二校舎の一室に学童保育の部屋があります。
利用できるのは、小学部に在籍の1年生から4年生までの
児童で入会条件にあてはまる児童です。

- ◆新入生定員/15名程度
- ◆平日/下校時～18時(延長19時まで)

小学部体験教室

小学部に入学を希望する園児・保護者の方々を対象に
小学部教室にて「体験教室」を年2回開催しています。



実際の教室にて小学部による
楽しい授業が体験できます。

ひもを引っ張ると
すいすい・ぐいぐい動きます!

かがくの体験授業として
「起き上がりこぼし」作りに挑戦!!

実際に授業を体験することで
学ぶ楽しさがわかります。

安全対策

登下校時の安全確保についての小学部での対策

- 下校の際には、毎日バス停の方面ごとに教員が児童を引率しています。
- 通学範囲の広さを考慮し、安全確保のため、学校指定の子ども用携帯電話に限り条件を付して所持を許可しています。

作新学院

Eメール送信

休校や災害時の緊急連絡・不審者情報などの連絡



作新学院
一の沢キャンパス

「アカデミア・ラボ」

地球の未来を創造する
「知と生命の実験場」